

大町病院サポーターの会会報

No.99

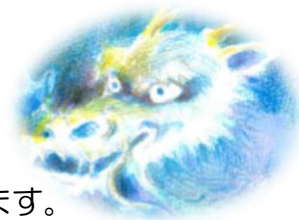
2024年1月発行

大町病院サポーターの会

発行責任者降旗剛

令和6年新年のご挨拶

サポーターの会
会長 降旗 剛



明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。

会員の皆様におかれましては、会の活動に対しご支援、ご協力をいただきありがとうございます。また会員の栗原陽子さんからは手作りの作業用手差しを沢山いただき病院周辺の整備の際、会員の皆様にお配りしたところ大変喜ばれました。

コロナウイルスの感染も衰えるどころか身近な方の感染も多くなってきています。今年こそコロナの感染が減少し通常の生活に戻ることを願うばかりです。昨年の事業を振り返りますと2月、コロナ禍の中、職員の負担を少しでも軽減するため病院玄関ロビーでの検温・消毒と案内サービスのお手伝いを役員で実施しました。

コロナ禍により医師の皆さんとの交流会ができませんでしたが11月、十分に感染防止対策を行いながら院長先生、副院長先生と役員により久しぶりに懇談会を開催することができ、短いながらも有意義な意見交換をすることができました。

毎年、病院駐車場のモミの木にイルミネーションを飾っていますが、経年劣化による不具合が出てきたため新しく2000球のイルミネーションを取り付けました。新しいイルミネーションは光も鮮やかですが、残りのイルミネーションの取り換えや、取り付け枠の取り換えなど本年度は全面的に改修工事が必要となり、大きな事業になる事と思います。

昨年は、久しぶりの復活事業や計画にない事業の開催もあり良かった半面、役員の方々は活動日数が多くなり大変だったと思います。一方大町病院におきましては、コロナ禍により中止されていた病院祭が10月に開催されました。先生方による講演を主とした病院祭も大勢の人が来場されました、サポーターの会も駐車場の交通整理、会員の勧誘と頂いた手差しの販売を行なうなど、とても盛り上がった病院祭になったと思います。

私は、サポーターの会の代表となり5年目となりました。5年をひとつの区切りと考えていましたので残りの任期を全力で努めてまいります。会員の皆さんの更なるご協力をお願いいたします。結びになりますが、会員の皆様、院長先生をはじめとする病院職員の皆さま、会員の皆さまが健康で良い1年でありますようご祈念申し上げます。

新年のご挨拶 藤本 圭作 病院事業管理者・病院長

大町病院サポーターの会の皆さん、新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり有難うございました。

COVID-19 感染症は、昨年5月8日から第2類から5類に移行し、世の中は次第に平常を取り戻しつつありますが、感染されたご高齢の方の入院は続いており、当院の感染対策は継続しています。さらにインフルエンザの流行もあり、職員の皆さんには未だ大変な負担をかけているのが現状です。

昨年の10月1日には4年ぶりに病院祭を開催し、多くの市民の方々に来場いただき、サポーターの会の皆様には大変なご協力を頂き有難うございました。好評を頂いた企画が多かったと思います。今年度は縮小することなく、今まで以上に盛り上げ、市民の方に楽しんでいただける病院祭の開催を目指していきます。

イルミネーション点灯式は、サポーターの会のご努力により素晴らしい飾りつけとなり、さらには点灯式後に南棟講堂（さくら）で、職員によるウクレレの演奏、オカリナの演奏と盛り上げていただき有難うございました。

大町病院としては

- ① 医師だけでなく職員の働き方改革を推進してまいります。
- ② 医療の質向上のために、学会、研究会、研修会への参加と積極的な発表、資格の取得をサポートし、院内学術発表会を通して多職種との情報共有を図ります。
- ③ 広報誌「きらり」や、メディアを使っただけの積極的な情報発信、市民公開講座の開催等により、市民の皆様の健康意識を高めるための取り組みを行ってまいります。
- ④ 多くの疾病を抱える高齢者が多い大北地域の地域包括ケアを担っていく当院としては、総合診療医の育成、感染管理、認知症、嚥下機能障害、緩和ケアの看護が専門的に診ることができる看護師、医師の補助をしてくれる診療看護師の育成を推進していきます。
- ⑤ 高齢化に伴い通院が困難となる患者が増加します。また高齢者が長期に入院すると、せん妄や認知症の悪化、日常生活活動性の低下が危惧されます。これらを回避するには在宅医療の充実が重要になってきます。当院では平成30年に在宅療養支援病院の基準を取得し、総合診療医を中心に訪問診療を行っており、24時間365日の対応が可能な体制を整えております。さらに訪問リハビリテーションの機能充実を図ると共に遠隔医療への対応としてオンライン診療も推進してまいります。今後は、地域の医療・介護関係者との連携をさらに強化し「届ける医療」の取り組みを推進してまいりたいと考えています。持続可能な地域医療提供体制を構築するため、地域における当院の役割・機能の見直しや、地域の関係機関との機能分化・連携強化など具体的な取り組みを盛り込んだ経営強化プランを基に、これからの病院機能の充実を継続しながら、病院理念もあります地域に密着した温かく誠実な医療を実践するため尽力してまいります。

今年もご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。



牛越市長の12月市議会冒頭挨拶より

牛越市長は12月市議会の挨拶で、大町病院の経営状況について次のように報告しました。

「市立大町総合病院の経営状況につきまして、本年度上半期は、新型コロナの感染症法上の位置付けが5類に移行したことにより、関係する国の補助金が減少したほか、発熱外来受診者の減少に伴う外来収益が減少するとともに、医業費用では、新型コロナへの対応を中心とする、高額医薬品等の材料費増額に加え、原油等の高騰に伴う光熱費などが大幅に増加しております。一方で、積極的な入院患者の受け入れと、適切なベッドコントロールにより入院収益は増加し、更には、健診内容を充実したことに伴う医療相談収益の増加もあり、医業収益では昨年度と比較して約4,000万円の減に止まりましたことにより、経常損益では1億5,000万円を超える黒字となっております。引き続き、市民の皆様が安心して診療を受けられる地域医療体制の維持継続と、経営の強化に取り組んでまいります。」

市民公開講座「あなたの眠りは大丈夫ですか」開催 講師：藤本圭作院長

12月13日、市立大町総合病院・地域医療福祉連携室は市民公開講座「あなたの眠りは大丈夫ですか」と題し藤本圭作院長が講演を行いました。質の良い眠りをとるために睡眠の仕組みや睡眠不足が及ぼす影響、不眠症の治療方法などを分かりやすく解説していただきました。質の良い眠りをとるために寝る時間や睡眠時間にこだわり過ぎないこと、朝同じ時間起床すること、定期的に運動することなど効果的だそうです。(令和5年12月15日大系タイムス記事より)

大系タイムス 令和5年12月15日付記事紙面

信州大学医学部研修生を市内視察研修に案内しました①



11/10(金)大町病院に研修に来ている信州大学5年生を市内見学に案内しました。

岡沢 洸志さん(出身:松本市)

田村 大地さん(出身:福岡県)

徳野 貴映さん(出身:大阪府)の3人です。

食事の合間にサポーターの会の誕生や経過、大町病院の沿革などをレクチャーしてから国宝仁科神明宮に向かい、塩の道を北上して、五十畑遺跡、路傍の五輪塔、山寺廃寺入口で説明し、民俗資料館へ向かいました。ここには山寺廃寺の出土品が陳列されている他、五十畑遺跡からの出土品も展示されていました。続いて藤尾覚音寺の千手観音を拝観しました。鷹狩山、霊松寺、若一王子神社、七倉ダムなど紅葉を楽しみながら帰路につきました。

大町病院の感想は、研修生の受け入れ態勢が整っていて、『医学生ウエルカムという感じです。』とのこと。いずれ経験を積んで大町病院へおいでくださいとお願いしました。



信州大学医学部研修生を市内視察研修に案内しました。②

12月8日、信大医学生の大谷咲之佑さん（茅野市出身）、沼田佳典さん（武蔵野市出身）、岡部拓海さん（松本市出身）の3人を市内研修に案内しました。昼食を味わいながら大町病院の事、サポーターの会の経過などをレクチャーし、仁科神明宮へ。ご神木候補の3本杉を後に1376年に建てられた国宝の中門、釣り屋、本殿を案内。塩の道を北上しながら、五十畑遺跡、佐々やき神社、五輪塔・石仏、山寺廃寺入口を車内から案内。民俗資料館では出土した高台に載った大きな円面硯等を見学。更に北上し山城丹生子城、関所跡を見ながら途中、道祖神と木船城入口の道標を見ました。山道をだいぶ走って八坂地区の藤尾覚園寺へ向かい、千手観音菩薩を拝観しました。その後は、居谷里堰、横堰、農具川をまたぎ市立山岳博物館へ。カモシカ、雷鳥などを見て北アルプス後立山連峰をバックにハイ・チーズ！一路若一王子神社へ。三重塔（1706建立）、本殿、観音堂（いずれも県宝）などを見て歩き、大町温泉郷を見ながら上原遺跡の環状列石を見て、劇団四季の倉庫群を見学、珍しい野口集落の山の神、高瀬渓谷大町ダムへ。竜神湖で蒼いダム湖をのぞき込む。常盤泉地区にある花彩（はないろ）のジェラードを食べてから、大町病院へ到着。夜はイルミネーション点灯式の準備を手伝ってもらいました。お疲れさまでした。



11/25（土）イルミネーション飾り付け設置作業



11月25日、サポーターの会会員など10人が集まり、イルミネーションの設置作業を行いました。高所作業車で伸び放題になっていた約20mのモミの木の剪定作業を行い、今年は200メートルのラインを加えより華やかになりました。モミの木の上には大きなスター飾り、階段にはアーチを設置し手際よく作業したおかげで正午までには終了しました。前日の朝から「作業のため当日はモミの木の周りに駐車しないでください。」の張り紙を出し作業スペースを確保したので安全に作業することができました。



牛越市長



藤本病院長

12/8 (金) イルミネーション点灯式を行いました。

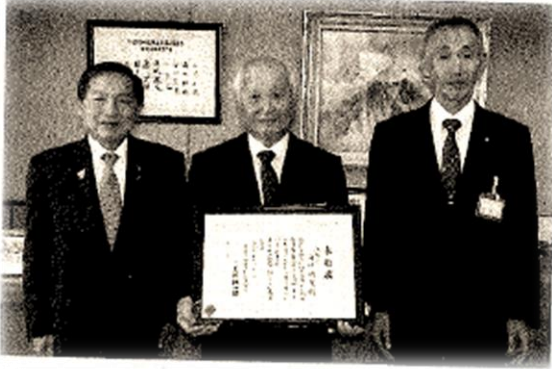


当日は天候にも恵まれ、晴れ渡っていながら、12月とは思えないほど暖かい夜でした。今年は電飾を増量した分より華やかになりました。医療従事者の皆さんや患者さんに楽しんでいただければ幸いです。

12月8日、イルミネーション点灯式があり、牛越市長、藤本病院長にご挨拶いただき、点灯後は記念写真を撮り、屋内にて、病院ウクレレ部とオカリーナ「ポポロ」の皆さんの素敵な演奏を聴きながら、ちょっぴり早いクリスマス気分を楽しみました。



海川明文さん、柳澤英幸さん、受賞おめでとうございます。



海川明文さんは10月27日札幌市で開かれた第56回全国子ども会育成中央会議研究大会で約30年にわたって子ども会の活性化や発展に携わり、青少年の健全育成に貢献したことを認められ表彰受賞されました。おめでとうございます、又ありがとうございます。
(令和5年11月10日付大系タイムス記事より)

柳澤英幸さんは佐久市で開かれた県青少年健全育成県民大会で長年にわたって青少年の健全育成に貢献したとして県知事賞を受賞されました。おめでとうございます。またありがとうございます。

(令和5年12月21日付大系タイムス記事より)



○白菜を差し入れしました。

11月23日、サポーターの会は白菜30玉を医局へ差し入れしました。(コンテナ6個分)雪が積もったこともあり、収穫期を判断することが難しい時期の収穫でした。いつも通り、無農薬、有機肥料の素人栽培のため、後日確認したところミミズが根元に入り込んでいたようです。ごめんなさい。でも味と品質には自信あり!

○干し柿を差し入れしました。

12月15日(金)、干し柿300個(10個×30袋)を医局に差し入れしました。今年の柿はやや小ぶりの食べやすい大きさです。粉が吹いてきれいに仕上がりました。

※以前紹介した方法は硬くなりやすいため、新たな方法を紹介します。

・干し柿に粉を吹かせる方法:

干し柿が適度な硬さに乾いたらビニール袋に入れ袋を閉じます。袋に入った干し柿を2日おきぐらいに反転させることを2~3週間繰り返すとまんべんなく白い粉が吹きます。



○大根を差し入れしました。

11月28日、手塩にかけた立派過ぎる大根を30本、差し入れました。猛暑と少雨のため野菜作りは難しかったなかで、大根だけは環境にめげず立派に成長しました。大きいものは50cmを超えていたのではないのでしょうか。作り甲斐がありましたがお届けした大根を見て先生方はびっくりされたのではないのでしょうか。(高橋)



先生方お疲れ様です、大根をつくりました、召し上がれ!
大根の肌がざらざらしています。無農薬のため虫が舐めているためです。市販のものと比較になりません安心して食べてください。サポーターの会 高橋(添付メモ)

お知らせ: 雪遊び交流会は諸般の状況により中止にします。

会費納入者リスト ありがとうございました(順不同、敬称略) 令和5年12月28日現在

個人新会員: 合津幸一

個人会費: 松田富子 武田浩美 塩入博仁 塩入優子 吉岡寿美代 北澤好泰

松本光代 竹村信吉 若松正枝